

# すくすく内学童クラブと今までの学童クラブの違い

2003年9月1日現在

## すくすくスクールって何？

すくすくスクールとはすべての小学生を対象にした遊びを中心とする全児童放課後事業です。年間1,000円という安い利用料で、人数に限りなく利用したいすべての子どもが放課後から午後5時まで学校(体育館・校庭・多目的室など)で遊ぶことができます。

そしてそのスクール内に学童クラブが併設されることになりましたが、従来の学童クラブに比べると様子が違います。おやつが出ない、子どもの具合が悪い時休む場所がない、専用の部屋がない、子どもの様子を家庭・学校と連携しながら継続して見てくれる専任指導員がない、などなど…これらについては各学校によってあり方を検討していくそうです。心配な点を以下まとめてみました：



	すくすくスクール内学童クラブ	学童クラブ
対象とする児童・家庭	すくすくスクールに登録した子どもで放課後に子どもの保育ができない家庭。人数・学年制限なし。	保護者が働いている共働き・一人親家庭の児童。受入人数は各学童クラブの施設の大きさによって異なるが、約40名～60名。小学校1年生から3年生が対象。入室を希望しても入れない「待機児」が多い。
目的	地域の方々の協力を得ながら、子どもたちが自由な空間・自己責任の中でのびのびと創造的な活動を行う場。その中に自宅での保育が難しい家庭の子どもを対象にした学童クラブを併設する。	保護者が働いている共働き・一人親家庭の小学校1～3年生を放課後、学校休業日(春・夏・冬休み、学級閉鎖日、振替の休み等)に預かり、遊びや集団生活を通して児童が心身ともに健やかに育成されることを目的に開設。
運営主体	江戸川区教育委員会・江戸川区児童女性課	江戸川区児童女性課
利用料	月額4,000円	月額4,000円・おやつ代月額1,700円
開設時間	放課後から午後5時まではすくすくスクールと一緒に過ごす。午後5時から6時までは学童クラブとして過ごす。	放課後から午後6時まで。
学校休業日(春・夏・冬休み、振替休日、学級閉鎖日等)の受け入れ	朝9時から午後6時。土曜日は9時から午後5時(全校で毎土曜日開設されるかは不明)。長期休みの一日の生活メニュー、生活場所等については未定。各校ごとに話し合いが必要。	朝9時から午後6時まで受け入れる。*台風などの自然災害時には、開室しているか電話で確認してから子供を登室させる。長期休みには生活リズムが崩れないよう、宿題・昼食・昼寝・遊びをバランスよく組み入れている。
専用に使える部屋があるか	各すくすくスクールの状態に合わせる。	ある。学校と独立した施設か、学校内の一教室を利用し運営している。
子どもの具合が悪いとき、怪我をしたとき	原則学校内の保健室は利用できない。養護教諭はすくすくスクールには関与しない。親への連絡をとり、親に手渡す。	簡易ベッド・救急箱があり、指導員が一時対応する。必要に応じて、親との連絡をとり緊急処置や病院へ連れて行くなど親に代わる保護を行う。
おやつ	ない。おやつを出してほしい親は各自で区の担当者・校長先生・担任と折衝する。出す場合、時間は午後5時。	ある。保護者が働いている家庭では夕食時間が遅いことから、補食の意味で「おやつ」が出される。時間は午後4時ごろ。おやつ代は月額1,700円。
指導員	すくすくスクールにはサブマネージャー(非常勤)、プレイングパートナー(パート)がいる。配置比率は不明。スタッフは各部屋に配置。学童クラブの指導員は非常勤。安全確保と登室降室確認が主な仕事。	子ども20名につき指導員(常勤または非常勤)が1名配置。子どもと一緒に遊ぶ、学校での様子を聞く、喧嘩の仲裁など子どもの生活全般を見守る。